# プシケおおたニュース

平成３０年 １１月号 NO.３４

社会福祉法人　プシケおおた事務局
〒144-0051 東京都大田区西蒲田 4-4-1
TEL：03-5700-6352
FAX：03-5700-6753
E-mail psyche-ota@mbj.nifty.com
HP http://www.koujiya-center.com/

**◆法人の理念◆**　「一人ひとりの”ちから”を信じ、当事者の思いを実現する。」
～私たち（プシケおおた）は、関わる人・機関が持っている力とその可能性を信じ、
当事者の「こうしたい、こうありたい」という思いの実現に向かって行動します。

**◆運営方針◆**
職員行動指針；
① 当事者中心 ② 自己決定 ③ 権利擁護 ④ 啓発
⑤ 協働 ⑥ 創造 ⑦ 研鑽 ⑧ Win-Win

## プシケに期待する

プシケおおた理事 松本　幸則

いつの間にか木々は落葉を見せ、頬を触る風の冷やかさに手をそっと添えるといった具合に秋も深まってきました。暦の上でも 11 月と、1 年の締めくくりにむかい様々に思いを巡らせ、平成の最後を迎えるという感慨深さも手伝ってどこか物悲しさと、新たな時代への期待とがどこか居心地の悪さを感じさせているこの頃です。ふと自分自身の平成史を頭に巡らせながら、来たる新たな時代に思いを馳せてみたく、キーボードを叩いてみることにしました。

振り返れば大学を卒業し、私が病院付設の精神科デイ・ケア専属ソーシャルワーカーに採用されたのが平成 7 年、忘れもしない阪神・淡路大震災の年です。同年に精神保健及び精神障害者福祉に関する法律の改正により精神障害者保健福祉手帳の制度が規定されるなど、これ以降障がい者の自立と社会参加の促進がより一層図られるようになったと考えます。一方、この前後には医療において精神科デイ・ケア、ナイト・ケアといった診療を行うなど精神療法及び薬物療法に加え患者さんの自立や社会参加を支える体制を整えていき脱長期入院に向かっていった時代であったと言えます。そのような中、生活基盤となる地域側の社会資源は患者さんや医療者が時代に期待した時間的感覚で広がりを見せたとは言い難いものだったかもしれません。そんなおり、大田区に地域生活支援センターをとの構想とワーキングで集ったことがきっかけとなり、この社会福祉法人“プシケおおた”に至る歴史にかかわりをもつことになったのでした。法的変遷もありますが、こうじや生活支援センターの運営にはじまり、かまた生活支援センター、グループホームの運営、相談支援事業などなど着実に障がい者の生活支援につながるべく活用されうる資源として成長してきたと考えます。

今一度私の平成を振り返りつつ、当法人の新たな時代に期待することは、我々がもつ時間的感覚は、当事者或いは行政や地域側のそれと必ずしも一緒ではないことを念頭に様々なアプローチを展開する資源になること。さらには、支援の対象は当事者にとどまらず、地域社会に対しても影響をもたらす資源に成長することです。客体となる時計の時間は一定であろうとも、主体となる時間感覚は時に速く、或いは限りあるものとして存在します。社会施策の変遷といった時間経過と人々が直面している感覚を身近に感じつつ、時に寄り添い、時には先んじた直感をもって臨んでほしいと切に期待します。また、大田区では人口増で、小家族化が進んでいます。さらに医療の発達もあってか超高齢化も着実にすすんでいます。今更ながらに皆が望む社会とは何か、心身に障害があってもなくても住まう社会とは、歳を経ても住まう社会とは何か、時に過去を振り返りつつ、時に次の世代の社会を真剣に考えていく必要に迫られているのだと思います。

あと 2 か月足らずで平成 30 年は幕を下ろしますが、来る新たな時代に社会福祉法人“プシケおおた”が、時に足早に、時に牛歩のごとく歩みを続け、利用者や地域のちからとなるよう更なる発

# センター祭りのご報告

**こうじや生活支援センター**

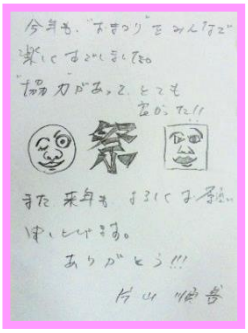
こうじや生活支援センターでは８月１９日（日）に「福祉のまち糀谷　第６回夏のおまつり」と協同でセンター祭りを開催しました。当日は、区長さんを始め、連合町会長の皆さま他、たくさんの方が来賓としていらしてくださいました。来場者の数も去年を上回り過去最高で、利用者さん４８名、地域の方１６５名と計２１３名もの方がお祭りに参加してくださいました。また、P.プロゼクトさんやクッキングワーク街の駅さんや家族会の方、ボランティアの方々やメンバーさんなど多くの方々の協力を得て、盛況のうちにセンター祭りを行うことができ、誠にありがとうございました。メンバーさんからも感想をいただきましたのでご紹介いたします。

今年もあけぼの会と共催で当事者発表会を行いました

今年初めて開催した「みんなで話そう会」にもたくさんの方にご参加いただきまし

アクセサリー手作り体験コーナーでは、今年も素敵な作品が沢山出来ました。

プログラムの最後は盆踊りを行いました。地域の方にも太鼓を叩いていただき、東京音頭と炭坑節を踊りました。



気候が良く、暑さでバテることなく参加できました。梅しらすご飯など、食べ物も沢山売れて嬉しく思いま

みなさんと一体になって創りあげたセンター祭りは想い出になりました。来年はもっとお手伝い出来たら良いなと思っています。ありがとうございました。

岡村

食べる物が旨い

Y

台風の事を大変心配していましたが、最高の天気に恵まれ良かったと思いました。豚汁がすごくおいしかったので、２杯も食べてしまいました。来年も又作ってもらいたいで

# かまた生活支援センター　地域交流事業

## 芋煮会

2018 年 10 月 27 日（土）かまた生活支援センターの地域交流事業として芋煮会を開催しました。前日の予報では雨マークで心配されましたがお昼ごろから晴れ間が見え暖かな陽気となりました。

この日のために、利用者さん方と職員で話し合いを重ね、芋煮の試作を行ったり近隣の皆様へチラシを配布させていただくなど、利用者の皆さんと共に作り上げてきました。そのかいあって当日、利用者の皆さんと準備した芋煮はご好評をいただき、おかわりも含め約 100 杯を振舞うことができました。また、ミニコンサートの演奏も素晴らしく、当事者ならではの歌詞は大変心に響くものでした。お越しいただいた皆様、ご協力頂きました皆様、本当にありがとうございました。

MAYUMI さんミニコンサート♪

将棋・折り紙コーナー

## おおた福祉フェスは完売しました！

9 月 30 日(日)に開催されたおおた福祉フェスに出店してきました。今まではパウンドケーキのみの販売でしたが、今回は生姜焼き弁当とから揚げ弁当の販売をしました。台風が接近する中での開催となりお客様が来るかどうか心配でしたが、2 時間程度で無事に全部売り切れました。参加した方から感想をいただきました。

・調理スタッフと売り子をやり、一つ夢が達成されました。
・9 月 30 日の福祉フェスは初めて出て、お弁当とパウンドケーキを売りました。最初はなかなか売れなくて退屈だったけど、そのうちだんだん売れるようになりました。あと、うちの知りあいの方がきて、挨拶してパウンドケーキを 10 コ買ってくれました。来年は出るかどうか考え中です。

## 10 月のレク：喫茶色えんぴつでランチ

10 月 22 日（月）のレクはメンバーミーティングで話し合った結果、新宿御苑か上野公園に行く予定でしたが、どちらも月曜日は休園のため 11 月に延期することにしました。その代わり、メンバーさんと職員合わせて 11 名でクッキングワークから歩いて 10 分の喫茶色えんぴつでランチをいただきました。

参加した皆さんからの感想です：

・とてもとてもおいしかったです。
・料理がたくさん見れて楽しかった。
・お店がきれいで可愛い、スブタ丼おいしかった！
・オムハヤシ美味でした。盛付け素敵でした。ごちそう様でした。
・オムライスは見た目がおしゃれ、味も上々で、スタッフの方々も親切でした。
・ロコモコ丼美味しかったです。分量もちょうどよく、皆さんと楽しく食事が出来ました。
・素敵なランチをいただきました。オムライス、卵、ふわふわでした。
・みんなで色えんぴつに食べに行ってすごく楽しかったです。わきあいあいと食べる食事はかくべつにおいしいと思いました。また機会があったらみんなで食べに来たいと思いました。色えんぴつの皆さまも一生懸命にはたらいていて私もがんばろうと思いました。すてきな一日をありがとうございます。

## ホームプシケ

# 10 月 14 日(日)に 3 町会合同防災訓練に参加しました

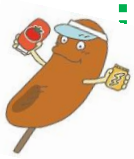
去る 10 月 14 日（日）に三町会の防災訓練がありました。ホーム蒲田 M・F、メゾンまちの皆さんが参加しました。消火器の使用、煙体験、瓦礫の撤去器具の使用体験、災害伝言ダイヤルの練習、AED・心臓マッサージの練習、119 への通報方法の確認、防災動画の視聴と、盛り沢山のメニューでした。日常の中でするごとのない活動ばかりでしたので、緊張したり苦戦したりと大変でしたが、参加者のほぼ全員の方が全ての訓練を行いました。有事の際、いかに自分が助かるか、いかに周囲の人を助けるかについて改めて考えさせてくれるものになりました。

## CS にしかまた

### 9/30(日)　西蒲田商店街交友会祭が開かれました

天気予報が雨で、残念なことにフリーマーケットは前日中止としましたが、当日の天気は午後過ぎまで雨は降らず、西蒲田商店街交友会祭は開催され、記事を書いて頂きました。

今回は、大岡山北商店街さんとのコラボで飲食店やお子さん向けの露店をグレードアップして出店！からあげ・やきとり・フランクフルト・玉こんにゃくは早くに品切れして、射的・スーパーボールすくい等も子供たちに大人気でいつになく盛り上がりました。イベントでも、縄跳びを２本使ってのダブルダッチの ROJER さんは、演技後に、子供たちに体験会をやって行列ができていました。三味線の鳥やす会さん・フラダンスもお祭りを盛り上げてくれました。　　西蒲田商店街　交友会



地域貢献PT

# 「フードバンク」の見学に行ってきました

私どもプシケおおたでは地域活動支援センターで夕食サービスを提供したり、グループホームで夕食会を開いたりしています。また、就労継続支援B型事業所「クッキングワーク街の駅」ではお弁当の調理と配達を作業として行っております。そういった活動の中で「食」に対するニーズや、「一緒に食べる」ということの大切さを日々感じているところです。
普段関わらせていただいている方々に対してももちろんなのですが、「食」に関する地域のニーズだったり、法人全体としてもっと広く地域社会に貢献できることはないかと話し合っています。
そこで、「食」に関する支援や地域貢献の参考とするため、まずは「フードバンク」の見学に行こうということになりました。

## 「セカンドハーベスト・ジャパン」の見学について

平成30年9月22日（土）、東京都台東区浅草橋にある「セカンドハーベスト・ジャパン」を見学させていただきました。創立者のチャールズさんが倉庫や館内を案内してくださり、設立の経緯や東京の貧困事情、フードバンクの仕組みなど分かりやすく説明していただきました。
食品の受け入れ前に試食して決めたり、使い切れないほどは受け取らないなど、食材や賞味期限の管理を徹底していることがわかりました。

**倉庫の見学の様子**

**会議室。模型を使ったりして分かりやすく説明していただきました☆**

## 見学の感想など

当日見学に行った職員や利用者さんの感想を少しだけ書きます。

・提供する側とされる側が対等な関係を重視しているところがいいと思った。
・フードセーフティネットを作りたいという話がすごいと思った。
・ＱＲコードを使ったり、ハード面がしっかりしていると思った。
・大田区のニーズがまだ見えてないことが分かった

## 見学を終えて

「セカンドハーベスト・ジャパン」の見学の後に振り返りを行い、次回は「子ども食堂」をやっている施設に見学に行ってみようということになりました。
今後いずれかの形で地域の方と「食」を通して交流し、少しでも地域社会に貢献していけたらと思っています。
今回見学はできませんでしたが、「セカンドハーベスト・ジャパン」でもキッズカフェという子ども食堂や学習会をやっているそうです。

キッズカフェ（子ども食堂）入口の風景

精神保健福祉の理解を深める会
あけぼの会

## *あけぼの会　ハイキングに参加して・・・・2018年10月6日　高尾山登山*

久しぶりにあけぼの会の行事に参加しました。総勢28人の参加で賑やかで楽しかった。

1983年に精神障がい者の地域生活支援を掲げてボランティア団体「あけぼの会」が発足し、20年近くにわたる活動の中で、幾度となく「世話人の負担が大きい」「活動を中止しよう」と議論になりました。でも、「継続は力なり！だよ」という励ましの言葉を合言葉にし、皆で続けてきました。

2001年に社会福祉法人に移行する中で、社会福祉法人では出来ない活動をしていく必要性を今は亡き西川公久氏が熱く語り、ボランティア団体「あけぼの会」は現在に引き継いでいます。

今回のハイキングに参加して、まさに継続は力なりを実感しました。中心になって活動している方がたに感謝です。今後も幅広い人たちが参加出来る団体として継続することを心から願っております。（小山）

**参加者感想**

・体力がついていけるか不安だったけれど、最後まで歩けて良かった。
登山の途中のお店で売っていたおだんごが食べたかったが、疲れていて買いそびれ残念だった。翌日、筋肉痛が出た。（ＴＫ）

・登山の途中で息切れしてしまったが、スタッフの方が「ゆっくりでもいいですよ」と声かけしてくれて、それから自分のペースで登り切れて良かった。でも疲れた。筋肉痛に

ケーブルカー乗り場

薬王院山門

## 「夜明け前　呉秀三と無名の精神障害者の１００年」上映＆シンポジウムｉｎおおた開催のお知らせ

人間の尊厳とはなにか――２０１８年、日本の近代精神科医療の礎を築いた呉秀三が「精神病者私宅監置ノ実況及ビ其統計的観察」という著作で、日本の精神障害者の人権状況について取り上げてから１００年目の節目を迎えます。今もなお突きつけられる問いかけについて一緒に考えませんか。映画上映とシンポジウム、講演を行います。ぜひ、お出でかけください。

○日　　時　　平成３０年１２月２２日（土）昼の部　午後３時～５時(開場午後２時半)
夜の部　午後６時～８時(開場午後５時半)

○場　　所　　東京工科大学３号館１０階階段教室３１００１教室
大田区西蒲田５－２３－２２(ＪＲ蒲田駅西口徒歩５分)
※大学敷地内には自転車がとめられません。近隣の区営駐輪場をご利用ください。

○内　　容　　各回とも映画「夜明け前　呉秀三と無名の精神障害者の１００年」上映
・昼の部　シンポジウム「当事者、家族、医療者が語るおおたの『夜明け』」
シンポジスト　山田悠平さん（当事者）　越智祥太さん（精神科医）
川﨑洋子さん（家族会）
・夜の部　講演「病むとされる側からいた『監置』と『精神病』」
講師　兵頭晶子さん（歴史学研究者）

○主　　催　　「夜明け前　呉秀三と無名の精神障害者の１００年」上映＆シンポジウムｉｎおおた実行委員会

○申　　込　　とちの実作業所　黒田　℡：０３－５７００－４５３３
大田区内で配布予定のチラシにはＱＲコードが掲載されており、そこからホームページにアクセスできます。

（記：実行委員　濱口）

## 賛助会　役員会　報告

### 「これからの賛助会のあり方を検討しています」

賛助会は平成 22 年 10 月「法人プシケおおたの財政基盤」の支援を目的に設立され、お陰様で、その活動はことし 10 月で満 8 年目を迎えます。

道家忠男前代表から、賛助会の設立目的がある程度達成された現在、改めて賛助会はこれからどういう活動に取り組むべきか、その目的や活動内容を明確にすべきではないか、との意見が出ていました。

役員会では道家前代表のこの意見を受けて、会員の皆さんの声をうかがってみようということになりました。

具体的には、会員の皆さまに、別途アンケートを実施し、皆さまからの声、要望などを募集する計画を進めています。皆さまからの積極的な声や要望をお待ちしています。　　賛助会代表　髙橋明紀代

## 映画「夜明け前　呉秀三と無名の精神障害者の 100 年」～試写会に参加して

いまから 100 年以上前の明治時代、呉秀三先生は精神治療において行われていた「拘束」を辞めるべきだという強い信念を持ち、その考えの普及に尽力されました。この映画は、この呉先生の生涯をていねいに描いた映画です。

この精神保健の歴史を学ぶこと。さらに呉先生が指摘した「この国(邦)に生まれたる不幸」が、今の日本でまだ無くなっていない現状など、とても考えさせられる内容です。

支援者の方にはとても参考になる映画です。また当事者や家族にとって、内容、表現（史実中心の映像）は地味ですが、やはり勉強になる映画です。　　髙橋明紀

平成 30 年 7 月 13 日～11 月 9 日までに、会費、又は寄付を納入して頂いた方。

**個人会員**　　**60 名**
**団体会員**　　**4 団体**
**寄付**　　**2 名**

心より御礼申し上げます。今後ともよろしくお願い致します。　　賛助会代表 髙橋明紀代

## 編集後記

猛暑がおわり、やっと秋らしい気候になってきました。しかし、気が付けばもうすぐ年末年始、次回の法人ニュースを検討し始めていきます。皆様のご協力で、今年度 2 回目の法人ニュースも無事発行できました。今後のニュースの内容をどのように充実させていくか、広報ＰＴ内でも検討を重ねていくとともに、みなさまからの意見もうかがえるようにしていきたいなと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。　　（京極）